

くつろぎタイム

マラソンクラブのメンバーと走ったり、日帰り温泉に行ったりするのが、いい気分転換になっています。

東北発電工業株式会社
取締役社長
仙台商工会議所 副会頭
かとう ひろし
加藤 博 氏
昭和24年3月18日生まれ
新潟市出身(新発田市生まれ)
血液型O型



昭和48年3月、日本大学理工学部電気工学科を卒業後、東北電力(株)に入社。秋田火力発電所技術課長、新仙台海力発電所所長などを歴任。エンジニアとして現場一筋に歩む。山形支店長を経て、平成22年6月、取締役副社長火力原子力本部長代理に就任、平成24年6月より現職。

「誠実」という言葉が好きです。物ごとを見極めるには、現実を誠実な態度で見ることが大切だと思います。私は東北電力時代、火力発電所での勤務が長く、メンテナンスのエンジニアとして、汗と油にまみれることもありました。今回、副会頭を仰せつかりまして、今度は会議所の会員の皆さんと一緒に、汗を流していきたいと思っています」とハツラツと語る。

日曜の朝、お仲間と一緒にマラソンを続けているそうです。

「体を動かした方がいいな」とは、頭では分かっているのですが、実際にはなかなか実行に移すことができないでおります。そんなとき、私が現職に就く前に勤務していた東北電力のマラソン愛好家たちが中心になってつくった「サンデーマラソンクラブ」という会があります。声をかけていただいたんです。私は苦しいマラソンがあまり好きではなくて逃げ回っていたのですが、一昨年、先輩から「会長をやったほしい」と言われまして、それで引き受けた手前、月に1、2回ですが、皆さんに混ぜていただいていることをしています(笑)。

日曜日の朝7時、夏場は6時半に西公園の源吾茶屋の前に集合しまして、体操をし

健康的な朝を過ごした休日は、その後、どのおつろぎですか。

家内と一緒に出かけたりもします。仙台ですと、日帰りであちらこちらの温泉に行くことができますから、秋保や作並、遠刈田などに行くのですが、行くたびに「ああ、いいなあ」と思います。仙台は大都市でありながら、自然も近いところにある、非常に恵まれた街ですね。海も山も近いですし、息抜きとか、リフレッシュするにはもってこいの環境だと思います。

東北電力におりましたときに、仙台と新

仙台海力発電所の所長をやっておりました。ちょうど月が沈むころ、松島湾の水面に光の道のように、月明かりが反射する様子が見えるときがあったんです。あれは本当にきれいで、そういう風景に出くわしたときは、ぜいたくな気分になります。家内もそういった景色を見るのが好きなものから、「月明かりがきれいな場所を探して行こう」と出かけたこともありまして。

その他、日頃のリフレッシュ方法はありますか。

私自身は、割と気持ちの切り替えは早くできる方だと思います。実は本を読むのが好きなものですから、ページをめくっている時間は、現実とは別の世界に入っているように、これがリフレッシュにつながるのですね。

読むジャンルはあまり問わないのですが、その時々「マイブーム」みたいなものはあります。最近では時代小説、例えば池波正太郎や藤沢周平の作品を多く読んでいます。小説の主人公の生き方や矜持などが興味深く、特に藤沢周平の小説などは、自分の生き方まで考えさせられたりもします。読書はいいものですね。

お酒はどのくらい飲みますか。

あまり晩酌はしないことにしていたのですが、「ちょっと一杯」はいいですね(笑)。それでも、気の置けない友だちと飲むのが一番楽しいです。同世代は、みんな退職しているのですが、結構、おもしろおかしく

生きているんですよ。中には「全国の街道巡り」なんていうのをやっている人もいて、それがとても楽しそうなんです。

では、時間ができたら、やってみたくらいはありますか。

高校時代、地学部に入って天体観測をしていたのですが、また、ゆっくり星を眺めたいという思いがあります。新潟の実家に帰省するときなど、その行き帰りで、たまに山の中で深夜になることがあるんです。そんなときは運転の手を休めて、ふと見上げた夜空に天の川が見えると、ちょっとドキドキするんですね。高校生のときに一生懸命、天体観測をした、あのときの思いがよみがえります。

時間ができたら、星のよく見えるところに行ってみたいと思っているのですが、今はまだ、その時間が取れそうにもないので、楽しみは後に取っておきます。

今期より、当所の副会頭に就任されました。今後の抱負をお聞かせください。

東日本大震災から6年になろうとしています。震災直後の「復興」と6年経過してからの「復興」とでは中身が変わっていくものと考えますが、仙台、宮城の復興から、東北の発展へと、もう少し頑張らないといけないと思っていますとこ



一昨年、秋田県田沢湖で開催されたサンデーマラソンクラブロード走「田沢湖最高大会」に出場したときの勇姿。

やがて生まれ来る子供たちのために。

宇宙のオアシス『地球』。ただひとつの、この青い星を守って行かなくてはなりません。大切な人のために、そしてやがて生まれ来る子供たちのために。私たちは、よりよい環境をめざし、考えつづけます。



より良い環境をめざす
AOBA 青葉環境保全
本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)